



受験サプリ

「受験サプリ」導入で、通塾不要の 進学指導ができる教育体制を

— 埼玉・私立 小松原高校 —

取材・文／丸山佳子



左から
進路指導部長
おおば
大場宣夫先生
特別進学コース長
矢菅 隆先生

School Data

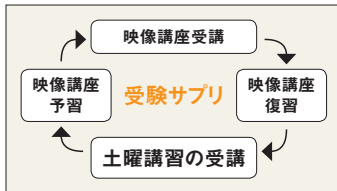
創立1959年／普通科・情報技術科
生徒数／1437人(男子)
進路状況(2012年度)／大学・短大進学42.0%、
専各進学33.0%、就職17.0%、その他8.0%
埼玉県さいたま市南区南浦和3-21-8
TEL 048-885-1488
URL <http://www.komatsubara.ac.jp/danshi/>

■ 学力向上への取り組み

2010年：普通科3コースを目標大学別に4コースに増設。教職員の授業研究実施。進学指導を充実

2012年：基礎学力向上のために、朝学習での小テスト、毎週・毎月の復習テスト、定期試験と、徹底した繰り返し学習体系を構築

2013年：試験休みを通常授業にして授業時間を増やす。以前からあった夏期・冬期進学講座や進学合宿、土曜講習を整備・充実させる。よりレベルアップを目指す「受験サプリ」の導入



予習・復習は、「受験サプリ」に紹介されている「予習・復習の仕方」を参考に進め、「土曜講習」で教員が講座内容をフォローする。

■ 受講生に聞く 「受験サプリ」活用法



左から、ともに2年特別進学コースの
小出啓一朗さん
小林 涼さん
星野尚哉さん

校内のパソコン教室で「受験サプリ」を受講していた生徒たち。「英語は基本からていねいに教えてくれますし、数学はつまらない計算ミスがいかに受験では命取りになるかなど、ジョークを交えて講義してくれるので、ためになります」(小出さん)。「数学の演習問題や英語は、どこからわからなくなったのか映像を巻き戻して確認できるので、自分の弱点が確認しやすくなりました」(小林さん)。「数学の塚先生のファンです。おもしろい表現で公式を教えてくださいるので、覚えやすいです」(星野さん)。3人ともハイレベル英語・数学の講座が役立っているという。

「まず最初に取り組んだのは、普通科の3コースを『特別進学』『進学選抜』『総合進学アドバンス』『総合進学スタンダード』の4コースに増やし、教職員が授業研究を積極的に行うことでした。同時に、成績優秀な生徒は進級時にコース変更できるようにしたこともやる気向上につながり、『もっとレベルアップを目指したい』という生徒が増えてきました。また、毎日の朝学習を利用した復習小テスト、

**繰り返し学習で学力向上。
本年度はオンライン講座も**

進路目標別にコース分けされた普通科と情報技術科があり、部活動も盛んな小松原高校は、生徒の進路が多様な男子校である。生徒の可能性を引き出し、夢をかなえる教育を目標とする同校では、近年増加してきた大学進学希望者の学力向上を目的にさまざまな取り組みを行ってきた。そして、この3年間で大学合格数を大幅にアップさせている(2010年度158→11年度173→12年度244)。

「これまで映像講座の積極活用ができていなかった理由は、4コースに分かれ、学力に幅がある普通科の生徒全員が使いやすい講座がなかったからだという。『できれば全生徒のやる気を引き出す映像講座が欲しい。そう考えていたときに知ったのが、スタンダードからトップレベルまで生徒が自分のレベルに合わせて講座を選べる『受験サプリ』でした。高校一括導入をすれば安価なので、受講費は学校が負担し、生徒は無料で予備校の人気講師による講座を受講することができます。しかも

毎週・毎月の復習テストを実施したところ、定期試験での学習内容定着率が上がり、基礎学力の底上げにつながりました。やはり、繰り返し学習は重要ですよ」と、進路指導部長の大場宣夫先生は言う。

本年度は、以前からあった夏期・冬期進学講座や進学合宿、土曜講習などを再整備して、繰り返し学習を強化。さらに、生徒が自主的に繰り返し見て学べる環境づくりをと、インターネットによる映像講座導入にも着手した。

「できれば全生徒のやる気を引き出す映像講座が欲しい。そう考えていたときに知ったのが、スタンダードからトップレベルまで生徒が自分のレベルに合わせて講座を選べる『受験サプリ』でした。高校一括導入をすれば安価なので、受講費は学校が負担し、生徒は無料で予備校の人気講師による講座を受講することができます。しかも

そのフォロー講座は「土曜講習」に組み込まれている。現在は試験段階だが、活用が増える秋ごろまでには体制を整えたいという。映像講座を充実させて目指すのは、通塾の必要がない、学校だけで勉強と進学指導が完結する教育体制である。

自宅のパソコンやスマートフォンでも受講できるので、部活動などで校内のパソコン教室を活用できない生徒も使いやすいですね」と大場先生。

**映像講座の効果アップを考え
受講後のフォロー体制を充実**

「受験サプリ」導入を決めてからは、講義内容の定着を図るシステム作りにも力を注いできた。特別進学コース長の矢菅隆先生は、「映像講座のメリットは繰り返し見て学べることです。しかし、見てわかった気にならず、知識を定着させるにはテストや演習で確認することが必要です。また、少し掘り下げないと理解できない生徒には、教師が解説することで、より効果的な活用ができるはずですよ」と話す。